

利用学習計画書

平成24年5月1日

担当 第6学年 小堤 智美

1 ねらい

縄文時代の自然環境や人々の生活、社会の様子について、身近な遺跡の見学や体験を通して関心をもち、調べる。

2 評価

縄文時代に関心を持ち、人々の生活や社会の様子について進んで調べることができる。

3 学習活動について

- ・教科 社会科『米作りのむらから古墳のくにへ』の発展教材として
- ・身につけさせたい力

見学や体験を通して調べたことをまとめたり表現したりする活動によって、人々の生活や遺跡の意味について考えることができる。

4 事前指導

- ・社会科『米作りが始まる前の時代』・・・縄文時代についての知識を確認しておく。
- ・活動内容や見学、体験学習の際のマナーの確認をしておく。
- ・縄文の森広場の概要について説明し、関心を持たせる。

5 当日の指導（活動）内容

(1) 見学学習

- ・復元住居・遺構表示等の野外展示及び館内の展示見学を予定。
- ・探検シートを利用して自主学習をし、わからないことは見学後にまとめて質問をする。

(2) 体験学習

- ・土器作り
- ・石器アクセサリー作り

6 当日の交通手段 市営バス

7 事後指導 見学・体験してわかったことや感想をまとめる。

利用学習報告書

平成24年7月4日

担当 第6学年 小堤 智美

1 事後指導について

(1) 実施日

- ・平成24年5月21日（月）5校時
- ・平成24年5月24日（木）3校時
- ・平成24年6月4日（月）5校時

(2) 主な内容

- ・社会の授業で探検ノートや体験活動の作品をもとに感想を書き学習を振り返る。
- ・社会の授業で各自の課題をもとに学習したことのまとめを作成する。

2 送付する資料

(1) 児童生徒の学習後の感想（抜粋3点）

(2) 児童生徒の作成資料 まとめ（3枚）

(1) 児童の感想（抜粋）

- ・環境に配慮し、なんでも食べ、こわれるまで道具を大事に使い、捨てるときはちゃんと捨て場に捨てるというこれこそ自然との調和だと思います。とても自然に思いやりがあり優しい人々だったと思い感動しました。山田上ノ台遺跡に来てとてもよかったと思います。また行ければ縄文体験をしてみたいです。ぼくも自然をとりもどすために少しずつ eco 活動をやりたいです。(縄文人に見習って・・・)
- ・縄文人は土器をいろいろな道具にして使い、道具がこわれるまで大事に使っていた。縄文人は環境を大切に生活していたのですね。また、縄文人はとてもおしゃれだったと思います。まが玉はどうしてあんな形なのか不思議でしたが、動物のきばをデザインしたと聞いて驚きました。たぶん、たくさん狩りをして勝ったあかしとしてきばの形にしたと思いました。大きなまが玉を持っている人が大きなえものを取ったんだと思いました。
- ・縄文の森広場には、3軒のたて穴住居が復元されていました。たて穴住居の床は少し掘ってあり、これは、夏すずしく、冬あたたかくするための工夫だそうです。地面の温度が一年を通して一定に近くなることを発見した縄文人は頭がいいと思いました。

(2) 児童の作成資料

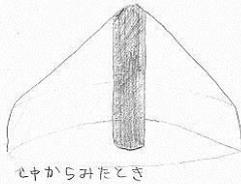
たて穴住居のヒ・ミ・ツ

たて穴住居の中には

1、たて穴住居の形は…
たて穴住居は外からみたら、三角のような形をしています。しかし、中に入ると、まるで円のように丸くなっています。

〈きもん〉
どうして円のようにしたのか。

〈自分の考え〉
まるくなる角がなくなるから、角が体に当たらなくて、安全にかなると思う。そして、円のほうが、すわりやすかったり、おやすかったりして住みやすいんだと思う。



ちちからみたく

2、たて穴住居を支える…
たて穴住居は風にも地しんにも勝つほど強いです。そんなたて穴住居を支えるのが、真ん中にある太い柱です。今でいう大黒柱と同じだと思います。

色はまっ黒
とても太い
ど真ん中にある } 持ちょう

〈きもん〉
どうして一本だけ大きな柱をたてたのか。

〈自分の考え〉
たて穴住居は、その一本の大きな柱だけでも支えられたらと思う。木の本数が増えしまうと、生活のじゃまになってしまうのかもしれない。

3、たて穴住居のにおい…
たて穴住居の中に入ると、何かを燃やしたにおいがしたるので、昔はここで何かを燃やしていたのかなと思います。

〈きもん〉
縄文土器以外で焼くのに、縄文土器を焼くとき以外は家の中でやるのか。

〈自分の考え〉
料理をつくらっているとき外だと大変だ、たのしみも少ない。家の中では、他の料理の準備をしていた人だと思う。他にも、家の中でだんをこいたり、夜を明るくしたりしていたのかもわからないから、家の中だ、たのしみだと思う。

【まとめ】
縄文人はたて穴住居で家族が豊かに住めるように、たくさんの工夫をしている。そして、じょうずに、住みやすいようになっている。

キャラクターしょうかい

名前: ハナちゃん
名前: ナメくん
名前: アンギンくん
名前: フルミン
名前: ハ、ばくん

ハナちゃんの家は3人。
アンギンくん洋服などに使う布を作る、てるよ。
フルミンはクルミだけでなく、どんぐりやくりを食ってたんだよ。

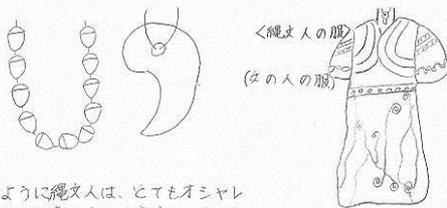
縄文土器を作るんだよ。
縄文土器を作るんだよ。
死んだ動物の骨をたよ。

おん土をこねてるよ。
通は、ばの前?
フルミン

オシャレな縄文人土器作り

〈作〉

〜オシャレな縄文人〜
縄文時代の人は、とてもオシャレで、どんぐりのネック、ズボン、かざり、まが玉のアクセサリーなどもつけていました。



このように縄文人は、とてもオシャレだったという事が分かります。とくに女の人の服がオシャレでした。この事から、縄文人は、時間をかけてオシャレなものを作ったんだと思います。この時代はオシャレを求めているような平和で豊かな時代だったんだと思います。また、お父さんお母さん、ハナちゃんをつけているものがちがったので家族の中の大黒柱などの身分の差を表すためだったのかなと思います。まが玉は、お守りの役目もあったかもしれないですね。

〜土器作り〜

私たちが作った土器は、形を作って完成で2時間。それのとても大きいを作るとすると、そういう時間が必要はらず、山から土をとってこないとはいけない。かわかして焼くという作業もあるからどのくらいの間でやっていたのか。そう考えると、人で役わりがあったのかなと思いました。それ以外にもみんな役わりがあったから分けていたんだと思います。でも、時間をかけて土器を作ると、木の

突などもたくわえられて、それに物にすることも出来るようになり、今まで食べられなかったものが食べられるようになりました。土器は、縄文人にとって欠かせない道具だったという事が分かりました。こういう物を縄文人は、ていねいに使って捨てる時は、きれいな場所に捨てたので、いつでもきれいな村であつたんでしょう。一人一人が、かりきまりを守ると私たちもきれいな場所に住む事が出来るので、かりきまりを守ってきれいな村にしたいと思います。



縄文人はとてもオシャレだったよ。
まが玉づくりもたいへんだね。
この家にも土器があつてくりの木を使つてつくるよ。

縄文土器のひみつ

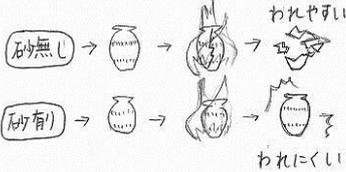
作. _____

～ 縄文土器の作り方 ～

縄文土器を作るときには、粘土を使います。その粘土には、ふつうの粘土には入っていない物が入っています。

～ 土器の粘土には砂を入れる ～

土器作りるときに使う粘土には砂が入っています。なぜ、土器作り粘土に砂が入っているのかというと、焼くときにわれにくくなるからです。ただの粘土で土器を作ってしまうと火の温度がとて熱いため、形がくずれ、われやすくなります。だから粘土に砂が入っているのです。



私は砂には土器をわれにくくする力があるとは知らなかったのでおどろきました。でも、おどろきの肥にも予もんがうかがえました。この砂はどんな砂なのかです。砂はその辺に散らばっている物がそれとも土器専用の砂か。

私の予想では、土器作り専用の砂を使っていると思います。ふつうの砂ではわれにくくはないと思うので、何か特殊な砂がある砂を使っていたんじゃないでしょうか？

ですが、逆に、粘土に砂が入ると良くないこともあります。それは粘土がすぐ固まってしまうことです。人によってガラスにとらえる方もいますが、こっちは作る人にはとても大変です。土器がすぐかわいて固まってしまわないよう、ゆるくするといいようにしよう。

その後、粘土の底の部分とひもを作り重ねていくと土器の形ができました。

これは縄のようや貝からのようをつけるなどして焼けば出来上がりです。縄文人はとてもおしゃれですね。

皆は、食べ物をに作り、しまし、おいたりして使っていました。縄目のようは今じうかこのあみこみになっているところを表していたようです。なぜ、縄文人が土器にこのようなようをつけたのかは、本当の理由が分かっていないそうです。でも、縄文土器にはさまざまな形の物やシンバル形の物や色んな形の物があるので縄文人は特に合わせて作っていたんじゃないかと思えます。なので、縄のようなども自分の好きにように作っていたと私は考えました。



実際に、見るだけじゃなく、作ってみたりするだけでも、縄文土器のことについてよく知ることができました。

土器には他に^{かえんかたに}火焼型土器という炎のような形の土器や土偶という女性の形をした身代わりやお守りの役目をしていった人形もあつたんだよ。

